

表 新型コロナウイルスの懸念される変異株 (Variants of Concern; VOCs)

2021.8.28 12:00時点

WHOの呼称	アルファ	ベータ	ガンマ	デルタ
最も早期の検体例	英国(2020年9月)	南アフリカ (2020年5月)	ブラジル (2020年11月)	インド (2020年10月)
Pango系統	B.1.1.7, Q.x	B.1.351, B.1.351.2, B.1.351.3	P.1, P.1.1, P.1.2	B.1.617.2, AY.x
GISAIDクレード	GRY	GH/501Y.V2	GR/501Y.V3	G/478K.V1
Nextstrainクレード	20I (V1)	20H (V2)	20J (V3)	21A
Sタンパクの主要変異	H69/V70欠失, Y144欠失, N501Y, A570D, P681H	242-244欠失, K417N, E484K, N501Y	K417T, E484K, N501Y	L452R, T478K, D614G, P681R
感染性	<ul style="list-style-type: none"> 感染・伝播性の上昇 2次感染率の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> 感染・伝播性の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> 感染・伝播性の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> 感染・伝播性の上昇 2次感染率の上昇
重篤度	<ul style="list-style-type: none"> 入院リスクの上昇 重篤度や死亡率の上昇の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> 入院時死亡リスクの上昇と関連している可能性 	<ul style="list-style-type: none"> 入院リスクの上昇と関連している可能性 	<ul style="list-style-type: none"> 入院リスクの上昇¹⁾
再感染性 (抗原性)	<ul style="list-style-type: none"> 再感染率について野生株との有意差なしの暫定結果 非変異株に比べて、変異株に対する回復者血漿による中和能が2-3倍程度低下*1 	<ul style="list-style-type: none"> 非変異株に比べて、変異株に対する回復者血漿による中和能が10-15倍程度低下*1 モデリング上、感染性増加がないと仮定すると、過去の感染による免疫から21%逃避していると推定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 非変異株に比べて、変異株に対する回復者血漿による中和能が6倍程度低下*1 非501Y.V3株に比べて既感染による免疫を25-61%回避可能という解析結果がある 他株への既感染者の再感染事例の報告あり 	<ul style="list-style-type: none"> 前回感染後180日以上経過した場合、アルファ株に比べて再感染リスクが高まるという報告がある。 非変異株やアルファ株に比べて回復者血漿による中和能が4倍程度低下の報告あり*1
ワクチンの発症、感染に対する有効性 *2	<ul style="list-style-type: none"> 発症、感染に対して不変 	<ul style="list-style-type: none"> 発症に対して減弱の可能性のあるものの、重症化に対しては不変 	<ul style="list-style-type: none"> 明らかになっていない 	<ul style="list-style-type: none"> 発症と感染に対して減弱の可能性のあるものの、重症化に対しては不変
報告国 *3	192ヶ国	141カ国	86カ国	163カ国

*1 in vitro (試験管内) での評価結果はin vivo (生体内) で起こる現象を正確に反映しないこともあり、本結果の解釈に注意が必要。

*2 国立感染症研究所, 新型コロナワクチンについて (2021年8月5日) : 懸念される変異株 (VOCs) に対するワクチン有効性について。

*3 WHO COVID-19 Weekly Epidemiological Update, Edition 54, 24 August 2021

参考文献 (第12報より追記・記載変更箇所のみ)

1) Twohig KT, et al. Hospital admission and emergency care attendance risk for SARS-CoV-2 delta (B.1.617.2) compared with alpha (B.1.1.7) variants of concern: a cohort study. Lancet Inf Dis. 2021. [https://doi.org/10.1016/S1473-3099\(21\)00475-8](https://doi.org/10.1016/S1473-3099(21)00475-8)